

# 風戸賞と研究奨励賞 電顕関連 若手4氏に

＝授賞式開く＝

財団法人風戸研究奨励会  
(田中通義理事長)は2月  
19日、東京・大手町の経団  
連会館で今年度(第4回)



前列左から4・6番目が風戸賞の石川・森岡氏、7番目が奨励賞の吉川氏、5番目が田中理事長、2番目が栗原日本電子社長。ほかは来賓、審査委員、財団幹部ら。

とし、電子顕微鏡・関連装置の研究・開発、および電子顕微鏡・関連装置を用いた研究(医学、生物学、材料学、ナノテク、その他)において優れた業績をあげた若手研究者に褒賞として副賞50万円とともに贈呈するもの。また、風戸研究奨励賞は35歳以下を対象に、

の「風戸賞」「風戸研究奨励賞」各2名の授賞式を行った。風戸賞は45歳以下を対象に贈呈するものである。

同分野で実績があり、かつ将来性のある優秀な研究者に研究助成金200万円を

解析」と大阪府立大学大学院工学研究科教授の森茂生氏の「電子顕微鏡を用いた機能性材料の材料物性的研究」に贈られた。風戸研究奨励賞はスタンフォード大学医学部研究員の村上健次氏の「クライオ電子顕微鏡解析による真核生物転写開始の構造研究」と大阪大学大学院基礎工学研究科助教の吉川純氏の「蓄電デバイス材料の原子・電子構造解析」に贈られた。

風戸研究奨励会は日本電子の創設者で社長だった風戸健二氏が昭和43年同社の創立20周年を記念して、私財から同社の株券等の寄付を行い翌44年に設立した財団法人である。風戸氏は海軍機関学校卒で現在93歳。